

# 第三期通常総会議案書

日時：2006年6月3日14:00～

場所：熊本大学 楠会館

## 議 題

- I. 2005年度事業報告及び収支決算報告承認の件
- II. 2006年度活動方針・事業計画並びに収支予算（案）決定の件
- III. 定款変更の件
- IV. 借入金最高限度額決定の件
- V. 第三期役員選出の件

## 第一号議案 2005 年度事業報告並びに収支決算報告承認の件

### 一、はじめに

(一) 2005 年度取り組んできた主な事業としては以下の通りとなっています。

- (1) 草資源流通センター具体化に向けた、カヤ・ススキの新しい利活用法のデモンストレーションとしてのワークショップによるストローベイルハウスづくり活動
- (2) 食品廃棄物リサイクルプランの具体化に向けたメタン発酵液肥散布試験
- (3) 夏祭りその他各種イベントでの BDF 普及活動
- (4) 自治体へのバイオマス普及活動及びバイオマスセミナーなどの取り組み
- (5) 九州バイオマスソリューション及びバイオマスタウンサミット、バイオマス国際シンポジウムへの参加及び共催
- (6) 野草資源の実験販売
- (7) 環境省からの野草活用マニュアル作成委託業務
- (8) 阿蘇市を通じた NEDO の草本系バイオマスのエネルギー利活用システム実験事業

(二) 2005 年度は、KBF にとっては NPO 法人としての活動の実質 2 年目にあたる年でしたが、上記のような活動を通して、急激に事業規模が膨らみ、年間の事業規模としては 1300 万円を超えるまでになってきました。

(三) 従って、従来片手間でやれてきていた経理事務及び事務局業務について、すでにそうしたレベルを超えてきています。

(四) さらに、2006 年度からは、年間 3000 万円を超える阿蘇市を通じた NEDO の実験事業が本格化します。

(五) そこで、KBF では本年 1 月に理事会を連続して開催し、事務局及び経理事務体制の抜本的強化と機関運営・諸制度などの整備を行っていくことを確認し、このため、(財)阿蘇グリーンストックに対し、別紙の様な特別な協力要請を行うことを決定しました。

(六) 上記決定と要請に基づき、2 月末より事務局体制の強化と整備を下記の通り進めています。

- (1) パート職員及び研究員の採用
- (2) 銀行口座及び印鑑類の整理
- (3) 顧問税理士の依頼
- (4) 経理システム・勘定議目・部門コード等の整理・確認
- (5) 社会保険及び労働保険・雇用保険等への加入
- (6) その他 金庫の購入

(七) 又、4 月 1 日からは中坊前事務局長は NEDO 事業に専念するために主任研究員となり、代わりに山内副理事長((財)阿蘇グリーンストック専務理事)に事務局長を兼任頂き、下記の様な事務局体制で活動を進めています。



## 平成17年度事業報告書

### (1) 特定非営利活動に係る事業実績

- ① ローカル事業（地域密着型事業）  
② グローバル事業（広域情報発信事業）

	定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①	地域モデル推進事業	計画 <b>草資源流通センター設立事業</b> (環境コミュニティビジネスモデル事業) 阿蘇の草原に豊富に存在する草本系バイオマスのカスケード利用を進めるための仕組みづくりを行う。 ・ ストローバイルハウスワークショップ ・ 傾斜地採草機械化実験 ・ 需要調査等	年間を通じて	阿蘇郡	5人	不特定多数	3300
		実績 ・ 1回目の傾斜地採草機械化実験を実施。 ・ ストローバイルハウスのワークショップを実施。 ・ 2回目の傾斜地採草機械化実験を実施。 ・ 需要調査は、未実施。	平成17年11月～12月	阿蘇郡	3人	不特定多数	3416
		計画 <b>液肥散布試験</b> 平成16年度に作成した阿蘇地区食品廃棄物リサイクルプランを具体化するため、メタン発酵の消化液を水稻の追肥として散布試験を行い、性能評価を行う。	平成17年8月	阿蘇市湯浦地区	3人	—	50
		実績 7月26日に消化液散布試験を実施。12月16日に食味試験を行った。	平成17年12月	阿蘇市九州東海大学農学部	3人	約80人	54
	広報啓発事業	計画 <b>BDF普及事業</b> 夏祭りやイベントなどでの電力を、BDFを使って発電し、バイオマスについての関心を高める。	随時	熊本県内	3人	不特定多数	—
①	広報啓発事業	実績 ・ 白水村両併夏祭りでライトアップを実施。 ・ 熊本市内のイベント「水あかり」でBDF発電を実施。 ・ TKUの日のイベントで、発電機にBDFを利用。パネル展示で地球温暖化防止と廃食油のリサイクルについて広報。	平成17年8月、11月 平成18年3月	南阿蘇村熊本市	2人	不特定多数	101
		計画 <b>草資源の活用推進</b> 草資源の利活用を進めるための懇談会の開催やパンフレット・ホームページの作成を行う。 (環境コミュニティビジネスモデル事業の一環として実施。)	年間を通じて	阿蘇郡	3人	不特定多数	—
		実績 実施できず	—	—	—	—	—

		計画	自治体へのバイオマスレクチャー 役場や市役所のバイオマス関連の担当者に、バイオマスタウン申請のためのレクチャーや、バイオマスを利用したまちづくり支援を行う。	随時	阿蘇郡	2人	—	—
		実績	南阿蘇村役場で勉強会を実施。	平成17年8月	南阿蘇村	2人	—	—
		実績	手づくり BDF セミナー ジャーニートップフォーエバーの平賀緑氏を招いて、南阿蘇村白水庁舎で5時間にも及ぶ手づくり BDF のセミナーを行った。	平成18年2月	南阿蘇村	2人	約50人	—
②	広報啓発事業	計画	九州バイオマスソリューション 日刊工業新聞社主催のバイオマスを扱ったイベントの企画・運営に協力する。	平成17年9月7~9日	福岡国際センター	4人	不特定多数	2,280
		実績	九州バイオマスソリューションを、実行委員会とともに主催した。	〃	〃	5人	不特定多数	3,007
		計画	バイオマスタウンサミット 九州農政局や九州バイオマス関係機関連絡会議と連携して、バイオマスタウンの現状や課題について討論の場を設け、今後のバイオマス普及に向けて考える。 (九州バイオマスソリューションの一環として実施)	平成17年9月8日	福岡国際センター	4人	不特定多数	—
		実績	九州農政局や九州バイオマス関係機関連絡会議と連携して、バイオマスタウンサミットを開催した。	〃	〃	3人	約200人	—
		計画	バイオマス国際シンポジウム 日本農業施設学会主催のシンポジウムで企画されている現地見学会等の運営を行う。	平成17年10月31日~11月1日	熊本市国際交流会館	3人	50人	600
		実績	日本農業施設学会と共催で、国際シンポジウムを主催した。	〃	〃	3人	140人	935
	広報啓発事業 交流事業	計画	バイオマスセミナー・交流会 会員や自治体等からの要望に応じて、講師派遣のセミナーや情報交換のための交流会を開催する。	随時	未定	5人	不特定多数	—
実績	・南阿蘇村役場で、木質チップボイラーの勉強会を開催した。	平成17年8月30日	南阿蘇村役場	2人	30人	—		

(2) その他の事業（収益事業）に係る事業実績

定款の 事業名		事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	支出額 (千円)
バイオマス 関連製品の 販売事業	計 画	セミナーやシンポジウムの会場で、バイオマスに関する書籍や資料・バイオマスの関連製品等を展示・販売する。	随時	セミナー 会場等	2人	160
	実 績	九州バイオマスソリューションや国際シンポジウム会場などで、書籍や講演要旨などを販売した。	〃	〃	〃	52
	計 画	阿蘇の草資源を収集・運搬・加工し、インターネット等を活用して、試験販売を行う。	随時	阿蘇地域	2人	2,200
	実 績	ロールペーラを新規導入し、ロールを茶園に販売した。	〃	〃	〃	1,407

平成17年度収支計算書

(1) 特定非営利活動に係る会計収支計算書

平成17年度特定非営利活動に係る会計収支計算書  
平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム

科目	予算	決算	差額
経常収入の部			
1 会費収入(新規加入のみ)	890,000	729,000	161,000
個人正会員(12,000円)	360,000	264,000	96,000
団体正会員(24,000円)	90,000	336,000	△ 246,000
個人賛助会員(3,000円)	360,000	69,000	291,000
団体賛助会員(20,000円)	80,000	60,000	20,000
2 寄付金収入	200,000	1,265,636	△ 1,065,636
3 事業収入	6,070,000	8,039,128	△ 1,969,128
広報啓発事業	1,750,000	723,243	1,026,757
地域モデル推進事業	4,300,000	7,104,065	△ 2,804,065
交流及び製品普及事業	20,000	211,820	△ 191,820
4 その他の事業会計からの繰り入れ	500,000	△ 126,858	626,858
5 補助金等収入	1,740,000	2,061,880	△ 321,880
6 雑収入	10,000	20	9,980
経常収入合計(A)	9,410,000	11,968,806	
II 経常支出の部			
1. 事業費	6,545,000	9,611,567	△ 3,066,567
広報啓発事業費	2,880,000	4,328,986	△ 1,448,986
地域モデル事業費	3,650,000	5,158,859	△ 1,508,859
交流及び製品普及事業	15,000	123,722	△ 108,722
2 管理費	2,564,000	2,061,194	502,806
役員報酬	-	-	-
給料手当	1,800,000	1,231,835	568,165
福利厚生費	12,000	-	12,000
旅費交通費	100,000	107,960	△ 7,960
通信運搬費	120,000	187,494	△ 67,494
印刷製本費	10,000	19,140	△ 9,140
消耗品費	50,000	39,004	10,996
什器備品費	25,000	35,299	△ 10,299
図書資料費	5,000	14,650	△ 9,650
光熱水費	-	4,097	△ 4,097
賃借料	120,000	97,500	22,500
保険料	30,000	29,100	900
会議費	60,000	57,903	2,097
渉外費	-	10,490	△ 10,490
支払利息	100,000	106,174	△ 6,174
雑費	10,000	12,147	△ 2,147
租税公課	72,000	108,401	△ 36,401
予備費	50,000	-	50,000
経常支出合計(B)	9,109,000	11,672,761	
当期収支差額(A)-(B)	301,000	296,045	
前期からの繰越(C)	△ 300,267	△ 300,267	
次期繰越収支差額(A)-(B)+(C)	733	△ 4,222	

収入	内訳		小計
寄付金	農業施設学会 個人	¥300,000 ¥965,636	¥1,265,636
広報啓発事業	九州バイオマスソリューション 環境と福祉のビジネスフェア BDF普及事業 12月16日セミナー	¥142,000 ¥418,745 ¥159,998 ¥2,500	¥723,243
地域モデル	環境コミュニティビジネスモデル事業 野草活用マニュアル作成事業 NEDO バイオマスエネルギー地域システム化実験事 野草資源小委員会	¥3,684,000 ¥1,500,000 ¥1,720,065 ¥200,000	¥7,104,065
補助金等収入	NEDO 非営利活動促進事業 熊本ファミリー銀行助成金	¥1,711,880 ¥350,000	¥2,061,880

支出	内訳		小計
広報啓発事業	九州バイオマスソリューション 東アジアバイオマスシンポジウム メタン発酵消化液散布試験 会報・HP作成 BDF普及事業 12月16日セミナー 環境と福祉のビジネスフェア	¥3,007,334 ¥935,480 ¥54,118 ¥12,420 ¥101,329 ¥2,651 ¥215,654	¥4,328,986
地域モデル	環境コミュニティビジネスモデル事業 野草活用マニュアル作成事業 野草資源小委員会運営受託事業 NEDO バイオマスエネルギーシステム化実験事業	¥3,416,226 ¥174,868 ¥40,790 ¥1,526,975	¥5,158,859

## (2) その他の事業（収益事業）に係る収支計算書

平成17年度その他の事業（収益事業）に係る会計収支計算書  
平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

## 特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム

	平成16年度	平成17年度	増減
<b>I 収入の部</b>			
1. 売上高			
書籍等販売売上	200,000	125,520	△ 74,480
草資源販売売上	2,500,000	707,309	△ 1,792,691
受託事業		500,000	500,000
<b>収入合計</b>	<b>2,700,000</b>	<b>1,332,829</b>	
<b>II 支出の部</b>			
1. 売上原価			
書籍仕入高	160,000	76,200	△ 83,800
草資源仕入高	750,000	255,000	△ 495,000
書籍仕入戻高	-	△ 24,000	△ 24,000
2. 販売・管理費			
渉外費	20,000	44,975	24,975
燃料費	20,000	73,585	53,585
会議費	5,000	9,569	4,569
福利厚生費	35,000	69,745	34,745
臨時雇用費	700,000	509,375	△ 190,625
リース料	250,000	183,038	△ 66,962
外注費	-	69,680	69,680
旅費交通費	-	2,000	2,000
通信運搬費	20,000	82,590	62,590
修繕費	-	30,375	
保険料	30,000	-	△ 30,000
借地料	50,000	40,000	△ 10,000
消耗品費	50,000	30,442	△ 19,558
什器備品費	10,000	7,113	△ 2,887
予備費	100,000	-	△ 100,000
<b>支出合計</b>	<b>2,200,000</b>	<b>1,459,687</b>	<b>△ 740,313</b>
<b>収支差額</b>	<b>500,000</b>	<b>-126,858</b>	<b>-626,858</b>

平成17年度財産目録

特定非営利活動およびその他の事業（収益事業）に係る財産目録

特定非営利活動およびその他の事業（収益事業）に係る  
事業会計財産目録  
平成18年3月31日現在  
特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム  
(単位:円)

《資産の部》	
【流動資産】	
(現金・預金)	
現金	55,945
郵便振替口座	24,000
普通預金	
熊本ファミリー銀行	2,296,244
肥後銀行宮地支店	1,696
郵便貯金	412,694
JAバンク	9,480
肥後銀行内牧支店	1,000
現金・預金計	2,801,059
(売上債権)	
未収金	3,664,913
売上債権計	3,664,913
流動資産合計	6,465,972
【固定資産】	
(有形固定資産)	
建物仮勘定	905,766
有形固定資産計	905,766
固定資産合計	905,766
資産の部合計	7,371,738
《負債の部》	
【流動負債】	
未払金	1,378,255
短期借入金	5,080,000
預り金	112,274
未払法人税等	71,000
流動負債計	6,641,529
負債の部合計	6,641,529
正味財産	730,209



平成17年度貸借対照表

(4) 特定非営利活動およびその他の事業（収益事業）に係る貸借対照表

特定非営利活動およびその他の事業（収益事業）に係る事業会計貸借対照表

平成18年3月31日現在

特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		未払金	1,378,255
現金	55,945	短期借入金	5,080,000
郵便振替口座	24,000	預り金	112,274
普通預金	2,721,114	未払法人税等	71,000
現金・預金計	2,801,059	流動負債計	6,641,529
(売上債権)		負債の部合計	6,641,529
未収金	3,664,913	正味財産の部	
売上債権計	3,664,913	<b>【正味財産】</b>	
流動資産合計	6,465,972	正味財産	730,209
<b>【固定資産】</b>		(うち当期正味財産増加額)	1,030,456
(有形固定資産)		正味財産計	730,209
建物仮勘定	905,766	正味財産の部合計	730,209
有形固定資産計	905,766		
固定資産合計	905,766		
資産の部合計	7,371,738	負債・正味財産の部合計	7,371,738


(5) 監査報告書

監査報告書

特定非営利活動法人  
九州バイオマスフォーラム理事会 御中

平成17年4月1日より平成18年3月31日までの平成17年度における特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラムの事業報告書、収支計算書、貸借対照表その他の関係書類の監査を行った結果、適正かつ公正な業務執行および会計処理を行っていることを報告致します。

平成18年5月24日  
特定非営利活動法人 九州バイオマスフォーラム

監事 宮本孝二 

## 第二号議案 2006 年度活動方針・事業計画並びに収支予算（案）決定の件

### 一、2006 年度活動方針

#### (一)はじめに

- (1) 今年度は何と云っても NEDO の草本系バイオマス利活用システム実験事業の推進が、KBF の最大の活動及び事業になると言えます。
- (2) しかし、KBF としては本来それだけではなく、阿蘇の草資源の利活用も含めた循環型地域社会創造へ向けて、一歩でも二歩でもその歩みを進めていくことが大切であり、忘れてはならないことであると思います。
- (3) そこで、現在の KBF の力からすると少し背伸びをすることになると思われる点ではありますが、2006 年度の活動方針(活動の目標)を以下の通りご提案します。

- ①全体としては NEDO のバイオマスエネルギー地域システム化実験事業の推進を中心に進める。
- ②バイオマスタウン構想の具体化及び南阿蘇村に於ける「菜の花プロジェクト」の具体化に取り組む。
- ③上記とも関連付け、昨年から取り組んでいるストローベイルハウスを完成させ、NPO 法人パーマカルチャーなども連携し、南阿蘇村バイオマスセンターとしての活用を具体化する。
- ④環境省や(財)阿蘇グリーンストック及び牧野組合などと連携し、阿蘇草原再生事業の推進に取り組む。
- ⑤一般市民や会員団体などから人材を受け入れ、専門家の協力も得て、バイオマスの利活用を推進できる人材の育成を行う。
- ⑥会報を充実・定期化し、会員とのコミュニケーションを図り、会員の拡大に取り組む。
- ⑦その他  
「エコテクノ 2006」や各自治体のバイオマスセミナーなどに協力し、取り組む。

### 二、2006 年度事業計画

上記活動方針に基づき、KBF の 2006 年度事業計画を下記の通り提案します。

#### <非特定営利活動に係る事業>

##### (一) 広報啓発事業

- (1) 会報を年 4 回を目途に定期発行に取り組みます。  
事業費 120,000 円
- (2) ホームページのリニューアルに取り組みます。  
事業費 150,000 円
- (3) 南阿蘇村バイオマスタウン構想の具体化に向けた菜の花プロジェクト推進調査事業に取り組みます。  
事業費 300,000 円
- (4) エコテクノ 2006 への参加  
事業費 400,000 円
- (5) 各自治体が開催するバイオマス関連セミナーなどの支援事業に取り組みます。

- 年 4～5 回 事業費 35,000 円
- (6) 視察・見学会の受け入れ
- 年 5～6 回 事業費 12,000 円

## (二) バイオマス利用地域モデル推進事業

- (1) 草本系バイオマス利活用システム実験事業 (NEDO からの委託事業) に取り組みます。  
事業費 28210,000 円
- (2) 南阿蘇バイオマスセンターとしてのストローベイルハウス建設事業を仕上げます。  
事業費 600,000 円
- (3) 野草の利活用推進に向けた野草活用マニュアルの作成と普及活動 (環境省からの委託事業) に取り組みます。  
事業費 1,400,000 円
- (4) バイオマス利活用人材育成事業に取り組みます。  
事業費 300,000 円
- (5) 今後もメタン発酵消化液散布実験に取り組みます。  
事業費 300,000 円
- (6) 「阿蘇草原再生協議会」野草資源小委員会の運営を担当します。  
事業費 150,000 円

## (三) 交流事業及びバイオマス関連製品の普及促進事業

- (1) 各種イベント・セミナー等への講師の派遣に取り組みます。  
年 4～5 回 事業費 75,000 円

### <その他の事業>

- (1) バイオマス利用に関する書籍・資料の販売  
年 4～5 回 事業費 28,000 円
- (2) 草の販売に取り組みます。  
随時 事業費 150,000 円

(1) 特定非営利活動に係る事業計画表 (2006年4月1日～2007年3月31日)

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象 者の範囲 及び人数	支出額 (千円)
広報・啓発 事業	(1)会報の定期発行 200×4回	年4回	—	1	200	120
	(2)ホームページのリニューアル	随時	—	1	不特定 多数	150
	(3)菜の花プロジェクト推進 (調査)	11月 ～平成 19年2 月	南阿蘇村	1	不特定 多数	300
	(4)エコテクノ2006 バイオマス・ニッポン in 九州への シンポジウムの主催および企画協 力	10月	北九州	3	300	400
	(5)バイオマス関連セミナー等の支 援	随時	九州	2	不特定 多数	35
	(6)視察・見学会の受け入れ	随時	阿蘇市 南阿蘇村	1	20～40	12
バイオマ ス利用地 域モデル 推進事業	(1)草本系バイオマス利活用システ ム	年間	阿蘇市	3	不特定 多数	28,210
	(2)ストローベイルハウス建設事業	4月～ 9月	南阿蘇村	2	不特定 多数	600
	(3)野草活用マニュアル作成事業	4月～ 5月	阿蘇郡	2	不特定 多数	1,400
	(4)バイオマス利活用人材育成事業	7月～ 3月	阿蘇市 南阿蘇村	2	4	300
	(5)メタン発酵消化液散布実験事業	4月～ 12月	阿蘇市 南阿蘇村	1	不特定 多数	300
	(6)野草資源小委員会事務局運営	年4回	阿蘇市	2	17	150
交流事業 バイオマ ス関連製 品普及促 進事業	(1)各種イベント・セミナー等への講 師の派遣	年5回	全国	2	不特定 多数	75

### 三、2006年度収支予算（案）

#### （1）特定非営利活動に係る収支予算書

平成18年度特定非営利活動に係る会計収支予算書  
平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

#### 特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム

	平成17年度	平成18年度	差額
I 経常収入の部			
1 会費収入	729,000	1,000,000	271,000
個人正会員 12,000円	264,000	300,000	36,000
団体正会員 24,000円	336,000	480,000	144,000
個人賛助会員 3000円	69,000	120,000	51,000
団体賛助会員 20,000円	60,000	100,000	40,000
2 寄付金収入	1,265,636	550,000	△ 715,636
3 事業収入	8,039,128	33,785,000	25,745,872
広報啓発事業	723,243	600,000	△ 123,243
地域モデル推進事業	7,104,065	32,985,000	25,880,935
交流及び製品普及事業	211,820	200,000	△ 11,820
4 その他の事業会計からの繰り入れ	△ 126,858	500,000	626,858
5 補助金等収入	2,061,880	1,800,000	△ 261,880
6 雑収入	20	10,000	9,980
経常収入合計 (A)	11,968,806	37,645,000	25,676,194

II 経常支出の部			
1 事業費	9,611,567	32,056,800	△ 22,445,233
広報啓発事業費	4,328,986	1,017,000	3,311,986
地域モデル事業費	5,158,859	30,964,800	△ 25,805,941
交流及び製品普及事業	123,722	75,000	48,722
2 管理費	2,061,194	5,581,000	△ 3,519,806
役員報酬	0	0	0
給料手当	1,231,835	3,480,000	△ 2,248,165
福利厚生費	0	20,000	△ 20,000
旅費交通費	107,960	200,000	△ 92,040
通信運搬費	187,494	240,000	△ 52,506
印刷製本費	19,140	120,000	△ 100,860
消耗品費	39,004	60,000	△ 20,996
什器備品費	35,299	221,000	△ 185,701
図書資料費	14,650	60,000	△ 45,350
光熱水費	4,097	240,000	△ 235,903
賃借料	97,500	120,000	△ 22,500
保険料	29,100	50,000	△ 20,900
会議費	57,903	80,000	△ 22,097
渉外費	10,490	20,000	△ 9,510
支払利息	106,174	120,000	△ 13,826
雑費	12,147	240,000	△ 227,853
租税公課	108,401	110,000	△ 1,599
業務委託費	0	100,000	△ 100,000
予備費	0	100,000	△ 100,000
経常支出合計 (B)	11,672,761	37,637,800	△ 25,965,039
収支差額 (A)-(B)	296,045	7,200	
前期繰越財産 (C)	△ 300,267	△ 4,222	
次期繰越収支差額 (A)-(B)+(C)	△ 4,222	2,978	

収入	内訳	金額(円)	小計
広報啓発事業	エコテック/2006実行委員会	400,000	600,000
	セミナー参加費等	200,000	
地域モデル	NEDOバイオマスエネルギー地域システム化実験	31,035,000	32,985,000
	環境省野草活用マニュアル	1,500,000	
	環境省野草資源小委員会	150,000	
	人材育成事業	300,000	
交流事業	講師の派遣	200,000	200,000
補助金・助成金	NEDO 非営利活動促進事業	300,000	1,800,000
	トヨタ財団	1,200,000	
	その他	300,000	
寄付金	熊本ファミリー銀行	500,000	550,000
	その他	50,000	

支出	内訳	金額(円)	小計		
広報啓発事業	会報の発行	120,000	1,017,000		
	ホームページ作成	150,000			
	菜の花プロジェクト推進事業	300,000			
	エコテック/2006	400,000			
	バイオマス関連セミナー等の支援	35,000			
	視察・見学会の受け入れ	12,000			
	地域モデル事業	NEDOバイオマスエネルギー地域システム化実験		28,214,800	30,964,800
ストローペイルハウスワークショップ開催	600,000				
野草活用マニュアル作成事業	1,400,000				
人材育成事業	300,000				
メタン発酵消化液散布実験	300,000				
野草資源小委員会	150,000				
交流事業	講師の派遣	75,000	75,000		
管理費	給料手当	パート給与9万円×12ヶ月	1,080,000	3,480,000	
		グリーンストックへの委託費	2,400,000		
	光熱水費	月2万円×12ヶ月	240,000		
	通信運搬費	月2万円×12ヶ月	240,000		
	什器備品	プリンター	80,000		
		スキャナー	45,000		
		電話機	10,000		
		カーテン	20,000		
		本棚	20,000		
		書棚	16,000		
		その他	30,000		
	業務委託費	税理士	100,000		

## (2) その他の事業（収益事業）に係る収支予算書

平成17年度その他の事業（収益事業）に係る会計収支予算書  
平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

## 特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム

	平成16年度	平成17年度	増減
<b>I 収入の部</b>			
1. 売上高			
書籍等販売売上	125,520	200,000	74,480
草資源販売売上	707,309	900,000	192,691
受託事業	500,000	0	△ 500,000
<b>収入合計</b>	<b>1,332,829</b>	<b>1,100,000</b>	
<b>II 支出の部</b>			
1. 売上原価			
書籍仕入高	76,200	50,000	△ 26,200
草資源仕入高	255,000	30,000	△ 225,000
書籍仕入戻高	△ 24,000	0	24,000
2. 販売・管理費			
渉外費	44,975	30,000	△ 14,975
燃料費	73,585	40,000	△ 33,585
会議費	9,569	6,000	△ 3,569
福利厚生費	69,745	10,000	△ 59,745
臨時雇用費	509,375	50,000	△ 459,375
リース料	183,038	180,000	△ 3,038
外注費	69,680	50,000	△ 19,680
旅費交通費	2,000	6,000	4,000
通信運搬費	82,590	60,000	△ 22,590
修繕費	30,375	30,000	△ 375
保険料	-	-	0
借地料	40,000	30,000	△ 10,000
消耗品費	30,442	20,000	△ 10,442
什器備品費	7,113	8,000	887
予備費	-	-	0
<b>支出合計</b>	<b>1,459,687</b>	<b>600,000</b>	
<b>収支差額</b>	<b>-126,858</b>	<b>500,000</b>	

### 第三号議案 定款変更の件

一、現在の KBF の定款では第 50 条 2 項に於いて予備費の使用について下記の通り定められています。

「予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。」

二、上記規程は、実際の運営に於いて非常に不都合を生じるため、削除し、先日理事会で定めた会計処理規定に基づいて運営していくこととしたいと考えます。

### 第四号議案 借入金最高限度額決定の件

一、現在の KBF の定款では、短期借入金の場合は借入金最高限度額を決めることにはなっていません。

二、しかし、今年度は NEDO 事業の関係で、年間事務費が 3500 万円を超えることになり、一定金額の短期借入が必要となることが予測されます。

三、そこで、念のために、今回の総会で以下の金額での借入金最高限度額の承認をお願いします。

**2006 年度の借入金最高限度額 1500 万円**



## 第五号議案 第三期役員選出の件

第三期の役員候補として以下の方々をご推薦いたします。

理事 大津 愛梨さん  
松下 修〃  
栴田 聖孝〃  
梶原 健次郎〃  
佐藤 誠〃  
薬師堂 謙一〃  
竹原 降樹〃  
西原 茂雄〃  
中坊 真〃  
野上 寛史〃  
小佐井 求美子〃  
山内 康二〃

(計 12 名)

監事

宮本 孝志さん  
松崎 武則〃

(計 2 名)

なお、設立期に理事長を務めて頂いた木田先生には、今期より顧問にご就任頂くことをご提案します。

## 活動庶務日誌

- 6月25日 第2回通常総会
- 7月12日 三菱総研へ実施内容説明書提出(中坊)
- 7月19日 南阿蘇村にインタビュー(中坊・永利)
- 7月21日 マイクロソフト助成金申請(吉田・中坊)
- 7月26日 メタン発酵液肥散布試験(野上・中坊)
- 8月5日 傾斜地における採草機械化実験(薬師堂・中坊)
- 8月17日 第1回運営委員会
- 8月31日 南阿蘇村役場で木質バイオマスセミナー(松下・吉田・中坊)
- 9月5日 環境省主催 牧野組合懇談会出席(中坊)
- 9月7~8日 福岡国際センターで九州バイオマスソリューション開催(吉田・木田・薬師堂・中坊)
- 9月16日 荅北町で漁船にBDFを利用(松下・中坊)
- 9月19日 環境支払い研究会(山内・中坊)
- 9月20日 第2回運営委員会
- 9月27日 マイクロソフトNPO支援事業 ヒアリング(吉田・中坊)
- 10月7日 阿蘇市長と面談(中坊)
- 10月17日 第3回運営委員会(山内・松下・薬師堂・梶原・中坊)
- 10月19日 NEDO バイオマスエネルギーシステム化実験事業申請書提出(中坊)
- 10月21日 エコテクノ2005 環境コミュニティビジネスセミナー 講演(中坊)
- 10月26日 NHKの火の国YOUに出演(中坊)
- 10月30日 熊本大学 シンポジウム(木田・中坊)
- 10月31日 東アジアバイオマスシンポジウム(薬師堂)
- 11月1日 東アジアバイオマスシンポジウム 見学会(吉田・薬師堂・中坊)
- 11月2日 東アジアバイオマスシンポジウム セミナー(薬師堂)
- 11月7日 熊本県草地畜産研究所(中坊)
- 11月9日 環境省草原再生協議会 第2回準備会(中坊)
- 11月11日 ストローベイルハウス第1回ワークショップ(松下)
- 11月17日 NEDO バイオマスエネルギーシステム化実験事業 ヒアリング  
経済産業省 環境コミュニティビジネス中間報告会(中坊)  
研究会「家畜排せつ物のバイオマスとしての位置づけと新技術の展開」(薬師堂)
- 11月19~20日 ストローベイルハウス第2回ワークショップ(松下・佐藤)
- 11月26日 ストローベイルハウス第3回ワークショップ(松下)
- 11月27日 第4回運営委員会
- 12月2日 環境省草原再生協議会(梶田・山内・中坊)
- 12月3日 ラジコン草刈機デモンストレーション(薬師堂・中坊)
- 12月4日 阿蘇フォーラムNPO活動発表会(宮本・中坊)
- 12月6日 資源環境対策のバイオマス特集号に記事執筆(中坊)

- 12月7日 環境コミュニティビジネス報告書・概算払請求書提出（中坊）
- 12月8日 [熊本市] 農水省政策提案会（中坊）
- 12月11日 大観峰牧野組合忘年会（中坊）
- 12月12日 NEDOからバイオマスシステム化実験事業採択通知
- 12月15日 [東京] NEDO採択者説明会（中坊）
- 12月16日 [九州東海大] 第2回バイオマスセミナー（中坊）
- 12月17日 [佐賀県有田町] バイオマスシンポジウム（中坊）
- 12月19日 第5回運営委員会
- 12月27日 [阿蘇市] コンソーシアムメンバーでNEDO事業について打ち合わせ（柗田・中坊）
- 1月31日 第4回理事会
- 2月3日 阿蘇市農政課・企画財政課と協議（山内・中坊）
- 2月6日 NEDO事業協議
- 2月7日 阿蘇市 牧野組合火入れ会議（中坊）
- 2月9日 菜の花プロジェクトについての協議（山内、中坊）
- 2月10～12日 グランメッセ熊本 バイオマスセミナーで藤井絢子氏が講演（中坊）
- 2月13日 阿蘇市 牧野組合火入れ会議（中坊）
- 2月16日 新規採用面接（山内、中坊）  
元食料事務所視察（中坊）
- 2月17日 福岡県農業技術課主催「バイオマス活用セミナー」講演（中坊）
- 2月20日 福岡市内 野草ローラー軸破碎実験（中坊）
- 2月21日 阿蘇グリーンストック専門委員会（中坊）
- 2月22日 NEDO 非営利活動促進事業報告書について協議（中坊）
- 2月25日 第3回南阿蘇村バイオマスセミナー「手づくり BDF セミナー」（松下、中坊）
- 2月27日 阿蘇市議会全員協議会でNEDO予算承認（中坊）  
環境CB経理報告書提出（松下、中坊）
- 3月1日 草原再生全体構想作業部会、阿蘇グリーンストック専門委員会（中坊）
- 3月2日 牧野組合意見交換会（中坊）
- 3月3日 クボタ・クローラー式トラクターデモンストレーション（中坊）
- 3月4日 経済産業省環境コミュニティビジネス成果発表会（中坊）
- 3月6日 トヨタ財団活動助成金実施計画書提出（中坊）
- 3月9日 NHK取材（中坊）
- 3月10日 阿蘇市長と面談（中坊）
- 3月11日 ストローベールハウスワークショップ（松下）
- 3月16日 食と緑、水を守る阿蘇の会で講演（中坊）
- 3月20日 清島さん出勤
- 3月21日 第5回理事会
- 22日 第1回草資源小委員会／第2回草原再生協議会
- 24日 TKUの日イベント準備

- 25日 TKUの日イベント BDFの利用
- 3月26日 TKUの日イベント BDFの利用
- 29日 書類作成(雇用契約書、給与規程、就業規則等)
- 31日 ベビーリーフ試験地見学
- 4月3日 週間会議
- 5日 委員会発言録作成
- 6日 委員会発言録作成
- 7日 阿蘇市と打ち合わせ
- 8日 トヨタ財団助成金授賞式
- 9日 エックス都市研究所と打ち合わせ
- 10日 週間会議
- 11日 九州農政局・熊本県庁に挨拶回り
- 12日 ベビーリーフ収穫
- 14日 九州東海大学片野研究室と共同研究について打ち合わせ  
ベビーリーフ収穫
- 15日 薬師堂さんと打ち合わせ
- 16日 第7回ストロベールハウス・ワークショップ
- 17日 週間会議
- 19日 社会保険事務所 書面審査  
ベビーリーフ収穫
- 20日 理事会の資料発送  
ベビーリーフデータまとめ
- 21日 NEDO 第1回評価委員会
- 22日 第1回阿蘇市バイオマスセミナー
- 24日 週間会議
- 25日 阿蘇市と打ち合わせ
- 26日 波野村畜産部会に対して説明
- 27日 第6回運営委員会
- 5月1日 環境省協議(野草活用マニュアル)
- 2日 カナダ領事館商務官協議
- 8日 阿蘇市協議(NEDO事業)
- 10日 牧野調査(町古閑)
- 11~14日 決算整理
- 16日 コンソーシアム会議(NEDO事業)
- 17日 理事長協議
- 18日 牧野調査(馬場豆札牧野)  
第7回運営委員会
- 19日 ↑ ファミリー銀行からの助成金贈呈式  
↓ 野草活用マニュアル

中外炉プラント視察（中坊・阿蘇市）

- 5月20日 中外炉プラントメーカー協議
- 22日 プレハブメーカー協議
- 23日 監査
- 24日 第6回理事会
- 25日 井出牧野調査
- 28日 第8回ストロベリーハウスワークショップ
- 29日 環境省野草活用マニュアル打ち合わせ
- 30日 草地畜産研究所・テラトラック視察
- 31日 申告書提出
- 6月1日 農水省訪問
- 3日 第三期総会

## 前年度までの役員名簿

特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム

役名	氏名	所属・役職
理事	吉田愛梨	一級建築事務所（有）アトリエユニ
理事	木田建次	熊本大学工学部・教授
理事	梶田聖孝	九州東海大学農学部・教授
理事	佐藤誠	熊本大学法学部・教授
理事	山内康二	(財)阿蘇グリーンストック・専務理事
理事	薬師堂謙一	九州沖縄農業研究センター・畜産総合研究チーム長
理事	松下修	NPO 法人パーマカルチャーネットワーク九州・代表
理事	梶原健次郎	(株)カジワラ・専務取締役
理事	竹原隆樹	竹原牧場
理事	野上寛史	野の上牧場
理事	中坊真	九州バイオマスフォーラム・主任研究員（専従職員）
監事	宮本孝志	阿蘇フォーラム・事務局長